



1



2



3



4

庄内の芸術文化史を見直し、多くの人々に知っていただく機会として、郷土ゆかりの企画
展覧会「庄内の美術家たち 11 上洛の日本画家 服部五老と富樫景堂」展を開催します。

鶴岡に生まれながらも、明治 30 年頃、日本画を学ぶために京都へ赴いた服部五老と富樫景堂という画人がいました。彼らの接点は見出せませんが、まさに同じ時期に上洛したこのふたりの郷土作家を紹介します。

服部五老〔1869/1871（明治 2/4）- 1930（昭和 5）〕は旧庄内藩士、服部大策の長男として生まれました。従兄弟には書の大家、松平穆堂ぼくどうがあり、息子の服部二柳も数奇な画人として知られています。京都へ出た服部五老は、南画界の重鎮であった田能村直入に師事し、明治 30 年代から日本美術協会展や文部省美術展覧会（文展）、日本南画院展に多く出品しています。京都画壇では橋本閑雪や竹内栖鳳らと並び称された人物です。

一方の富樫景堂〔1876（明治 9）- ?（昭和）〕も旧庄内藩士、富樫澄の長男として生まれました。京都へ出たのは 1898（明治 31）年のことで、四条派の今尾景年に師事しています。主に京都美術協会で活躍し、日本美術院と日本絵画協会の連合展にも出品を重ねて、1902（明治 35）年に二等褒状を受けています。終戦後の 1946（昭和 21）年には、一時鶴岡に帰郷し、個展を開催していますが、その後の経歴についてはあまり分かっていません。

本展覧会では、庄内地域に残された服部五老と富樫景堂の貴重な掛軸を中心に、山形美術館が所蔵する富樫景堂の佳作「渓谷舟遊図屏風」を加え、約 30 作品を展覧します。

【関連イベント】

◆ギャラリー・トーク

担当学芸員が会場にて作品解説を行います。
日 時：2月6日（土）、3月5日（土） 各日 14:00～15:00
参加料：無料 ※ただし、観覧券が必要です。
申込み：不要 ※会場へ直接お越しください。

◆市民交流プログラム・座談会

「日本画は可能か？ 東北画は可能か？」 ——地方之国構想 鶴岡編——

昨今活躍のめざましい、三瀬夏之介さんをお招きし、一緒に展覧会を観覧した後、現在の活動についてお話ししながら、「日本画」や「東北画」、そして「鶴岡」について談話します。お気軽にご参加ください。
日 時：2月20日（土） 13:30～15:00（13:00 開場）
会 場：2階大会議室
ゲスト：三瀬夏之介（絵描き、東北芸術工科大学教授）
参加料：「庄内の美術家たち 11」展の観覧券をお買い求めいただけます。
申込み：不要 ※席に限りがございます（50 席程度）。

1. 富樫景堂「渓谷舟遊図」（右隻）紙本着色・屏風・六曲一双 山形美術館蔵
2. 富樫景堂「月夜に木菟図」紙本着色・軸装・一幅 致道博物館蔵
3. 服部五老「松陰養鶴之図」絹本着色・軸装・一幅 致道博物館蔵
4. 服部五老「瀑布図」紙本墨画・軸装・一幅 山形美術館蔵



鶴岡アートフォーラム

〒997-0035 山形県鶴岡市馬場町13-3
TEL: 0235-29-0260 (代表) FAX: 0235-22-6051
E-mail: info@t-artforum.net URL: http://www.t-artforum.net